

奈良県宿泊統計調査

年間報告書

(平成21年1月～12月)

平成22年6月

奈良県文化観光局

観光振興課

は じ め に

奈良県では、平城遷都1300年祭後の持続的な観光振興をめざし、観光政策立案の基本インフラである統計の充実を図ることといたしました。

特に、奈良県の観光の弱みと言われている宿泊観光の実態を明らかにするため、県独自に宿泊統計の充実に取り組むこととし、県内の代表的な観光地の市町村、旅館組合、観光協会をお訪ねし、実情をお伺いすることから調査をはじめました。ご協力いただいた皆様方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

奈良県の宿泊者数は、平成19年からはじまった観光庁統計では全国で最下位と公表されています。観光庁統計は、従業員数10人以上の施設を対象に集計されていますが、県内でこの条件に当てはまる宿泊施設は、施設数でいうと13.2%、客室数では38.6%であり、小規模な宿泊施設が多いという本県の特徴が明らかになっています。この大部分を占める小規模な宿泊施設を調査対象に含めないと、奈良県の宿泊観光客の実態はわかりません。

昨年12月の「奈良県観光客動態調査」において、従来からの手法に基づき県内宿泊者数を公表しましたが、このたびの詳細な調査において精査したところ、母数の把握に問題があることが判明いたしました。

昨年までの調査では、平成20年度衛生行政報告例で公表されている県内宿泊施設747施設、客室数10,782室、収容人員35,352人を調査対象としていましたが、今回の調査では、関係機関を訪問することにより、廃業施設や、ラブホテル類の情報を得て、その数を対象施設から除外いたしました。その結果、実態は宿泊施設531施設、客室数7,980室、収容人員27,376人であるという結果を得ました。この数値は、前述の衛生行政報告例に比べ、施設数で29%の減、客室数で26%の減、収容人員数で23%の減となっております。

この事実を冷静に受け止めながら、実態に即して真摯に本調査を取りまとめました。

今後とも、政策評価や施策の立案に活用できる観光統計の充実・強化に努めてまいりたいと考えておりますので、関係各位のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

平成22年6月

奈良県文化観光局観光振興課

1. 奈良県内の宿泊施設立地と調査の概要

■エリア別の宿泊施設立地動向と調査票送付・回収動向

エリア別の宿泊施設立地動向と調査票送付・回収動向

平成21年12月末現在

エリア	宿泊施設数 (件)	客室数 (室)	定員数 (人)	*有効送付先数 (件)	送付比率 (%)	回収数 (件)	回収率 (%)	対全施設比 (%)	廃止施設 業態別	廃業施設数 (件)	廃止客室数 (室)	廃止定員数 (人)
A	200	4,819	14,031	102	51.0%	57	55.9%	28.5%	旅館	11	101	514
									簡易宿所	1	5	30
B	66	924	2,808	38	57.6%	27	71.1%	40.9%	旅館	12	146	382
									簡易宿所	2	11	35
C	40	357	1,737	26	65.0%	12	46.2%	30.0%	旅館	6	35	152
* キャンプサイト		100	403						簡易宿所	14	48	255
D	113	984	5,066	61	54.0%	32	52.5%	28.3%	旅館	10	75	248
キャンプサイト		405	1,610						簡易宿所	16	59	275
E	79	620	2,462	40	50.6%	18	45.0%	22.8%	旅館	11	80	264
キャンプサイト		47	188						簡易宿所	16	58	240
F	33	276	1,272	21	63.6%	17	81.0%	51.5%	旅館	3	32	111
									簡易宿所	9	65	400
合計	531	7,980	27,376	288	54.2%	163	56.6%	30.7%	旅館	53	469	1,671
キャンプサイト		552	2,201						簡易宿所	58	246	1,235

* キャンプサイト分は外数（ホームページ等で確認）

* 有効送付先数は送付先の廃業等判明先を除いた数

各エリアの市町村一覧

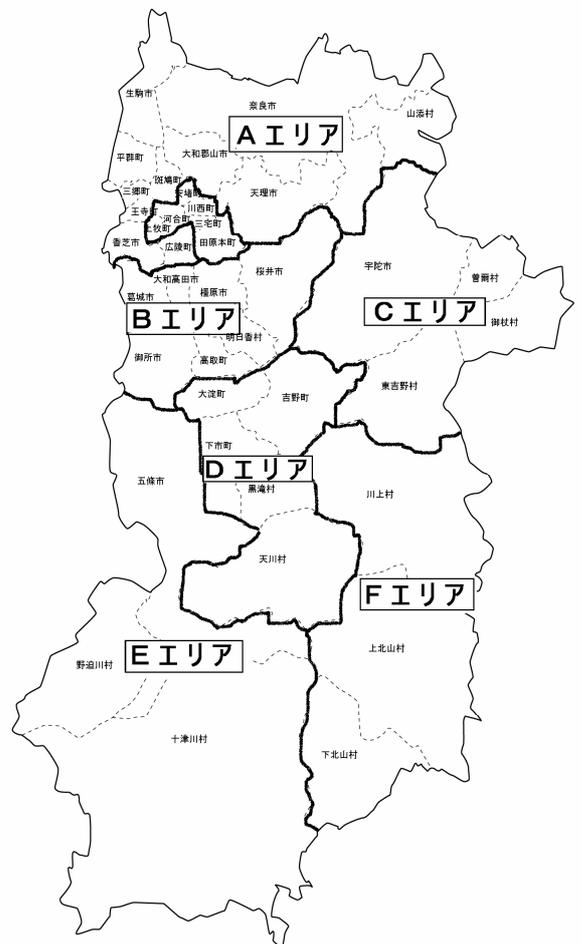
- A. 奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、香芝市、広陵町、山添村（対象宿泊施設無し：安堵町、上牧町、河合町、川西町、田原本町）
- B. 大和高田市、橿原市、葛城市、桜井市、御所市、明日香村、高取町
- C. 宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村
- D. 吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
- E. 五條市、野迫川村、十津川村
- F. 川上村、上北山村、下北山村

■統計調査実施にあたっては、地域別の状況及び特性をきめ細やかに把握できるように、上記のように県内を6つのエリアに分けて対象地域としています。

■また、対象宿泊施設については、営業形態や規模（従業員数等）に関わらず、開業許可申請に当たっての届け出が有るものすべてを対象としておりますが、事前の各エリア訪問等により、可能な限り廃業施設を除外しています。

■調査は、各エリアの宿泊施設のうち、国土交通省の調査対象先や県内宿泊関連組合等に参加する施設を中心に約半数を抽出し、調査票か質問紙を用いた郵送法により行っています。

■第1回調査（平成21年1～9月分）は、10月下旬に配布し12月中旬にかけて回収、第2回調査（平成21年10～12月分）は、平成22年1月下旬から3月中旬にかけて回収しています。



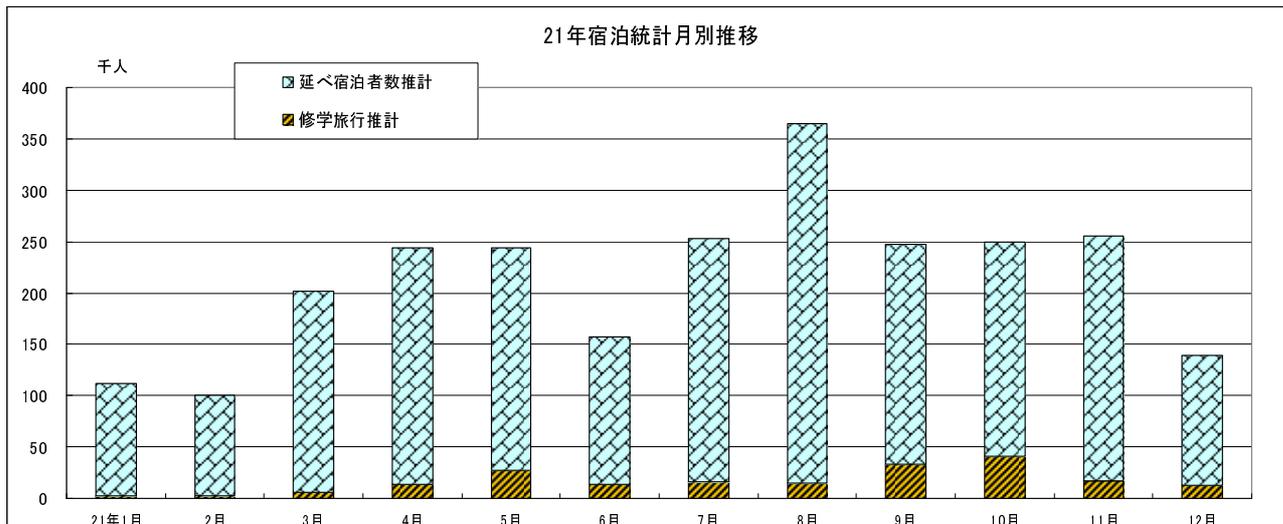
2. 月別延べ宿泊者数推計値

(単位:人)

エリア名	種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
Aエリア	旅館	32,427	25,055	54,409	69,895	74,985	48,264	65,702	85,626	79,340	84,539	76,537	41,410	738,189
	ホテル	49,942	46,831	86,844	87,999	76,671	51,587	70,791	99,433	79,585	89,891	106,823	63,786	910,183
	簡易宿所	1,133	1,277	4,079	4,998	8,090	6,634	9,374	17,531	6,333	5,144	3,217	2,479	70,289
	計	83,502	73,162	145,332	162,892	159,746	106,485	145,867	202,590	165,258	179,574	186,577	107,675	1,718,660
Bエリア	旅館	2,731	2,733	7,288	12,267	9,628	5,322	9,919	17,267	8,272	12,396	16,835	7,408	112,065
	ホテル	8,482	7,026	13,113	13,302	11,903	8,101	10,212	14,768	11,042	12,962	14,896	8,396	134,203
	簡易宿所	135	308	1,352	1,639	1,308	452	613	2,754	956	1,733	1,052	143	12,444
	計	11,348	10,067	21,753	27,208	22,839	13,874	20,744	34,788	20,270	27,091	32,784	15,946	258,713
Cエリア	旅館	2,584	2,325	3,071	4,175	3,247	2,501	3,408	5,975	1,779	1,798	1,879	744	33,487
	簡易宿所	525	2,344	3,453	8,519	7,819	9,034	10,669	16,034	8,610	4,532	2,307	1,392	75,239
	キャンプ場	135	158	551	984	2,217	1,968	5,334	10,863	9,062	2,117	1,220	610	35,219
	計	3,244	4,827	7,075	13,678	13,283	13,504	19,411	32,872	19,451	8,447	5,406	2,746	143,944
Dエリア	旅館	3,504	2,391	11,347	21,100	17,672	6,723	28,158	29,431	11,250	9,949	9,862	3,523	154,910
	簡易宿所	410	431	943	2,911	1,830	1,778	2,267	2,857	1,824	5,428	4,664	325	25,669
	キャンプ場	115	0	232	725	7,881	2,976	17,049	27,617	9,664	2,805	425	34	69,523
	計	4,029	2,822	12,522	24,737	27,384	11,477	47,473	59,904	22,738	18,182	14,952	3,882	250,103
Eエリア	旅館	5,036	4,616	7,839	8,587	9,513	6,239	8,352	12,575	8,306	8,417	10,042	5,672	95,195
	簡易宿所	1,879	1,690	2,836	3,116	3,689	2,358	3,589	5,792	3,575	457	233	185	29,399
	キャンプ場	0	0	0	52	826	63	569	1,689	907	192	11	32	4,341
	計	6,915	6,305	10,676	11,755	14,028	8,661	12,510	20,056	12,788	9,066	10,286	5,889	128,935
Fエリア	旅館	1,620	1,919	2,940	3,076	3,685	2,773	3,930	7,916	3,025	3,541	3,777	2,396	40,599
	簡易宿所	300	653	607	344	873	375	754	1,348	787	2,053	314	134	8,543
	キャンプ場	225	224	910	456	2,361	583	2,077	5,722	2,565	1,064	643	427	17,257
	計	2,145	2,796	4,457	3,876	6,919	3,731	6,761	14,986	6,378	6,659	4,734	2,957	66,399
小計	旅館	47,902	39,038	86,894	119,101	118,731	71,822	119,469	158,790	111,971	120,641	118,933	61,153	1,174,445
	ホテル	58,424	53,857	99,958	101,301	88,574	59,688	81,003	114,201	90,628	102,852	121,719	72,181	1,044,386
	簡易宿所	4,382	6,702	13,270	21,527	23,609	20,632	27,266	46,315	22,086	19,348	11,787	4,658	221,583
	キャンプ場	475	382	1,693	2,217	13,286	5,591	25,029	45,891	22,198	6,178	2,299	1,102	126,340
合計	111,183	99,979	201,815	244,147	244,199	157,733	252,767	365,196	246,882	249,020	254,738	139,095	2,566,754	

延べ宿泊者数については、回答回収先の延べ宿泊者に基づく平均定員稼働率を、回答が得られていない宿泊施設や抽出施設外の月中延べ定員数の合計に当てはめて推計しています。

旅館、ホテルなどの営業形態による特性を踏まえて、定員稼働率は営業形態別に算出しています。また、営業形態区分は、原則として調査票回答分の「施設のタイプ」欄への記入に基づいています。



平成 21 年中の奈良県内の宿泊者（推計値）は 2,567 千人となり、うち 1,719 千人（67.0%）が県北部の A エリアに集中しています。

次いで、明日香・橿原神宮、長谷寺・多武峰などの観光地を擁するほか、県中部地域の産業経済の中心としてビジネス等による宿泊も多い B エリアの 259 千人（10.1%）、吉野山、洞川温泉を擁し、自然の豊富な D エリアの 250 千人（9.7%）が続きます。

その他、曽爾村などの高原地域である C エリアは、近年、道路の整備が進み、また、大阪、名古屋の両大都市から比較的近いこともあって日帰り観光客が急速に伸びており、今後の宿泊観光についても大きなポテンシャルを有しています。

紀伊半島山間地を十津川村方面に伸びる国道 168 号沿いの E エリア、同じく下北山村方面への国道 169 号沿いの F エリアは、これまで、観光客のほか、土木・建設や林業従事者の宿泊が、簡易宿所を中心に多くみられていた地域ですが、近年の公共事業減少の影響から宿泊客が年々減少しています。さらには、土砂崩れなどの自然災害による道路寸断によっても大きな影響を受けています。

現在、両国道の整備が急がれ、アクセスも急速に向上してきていますが、豊富な自然と温泉にも恵まれることから、山間地域の過疎化対策としても観光振興に大きな期待がかかっています。

3. 延べ宿泊者数増減率（前年同月比）

延べ宿泊者数増減率(前年同月比)

(単位:%)

区分	21年1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	
Aエリア	旅館	-5.9	-20.4	-19.1	-11.8	-26.7	-36.0	31.0	21.0	40.8	3.2	-9.1	-10.0	-5.1
	ホテル	2.3	-6.2	5.4	6.8	-9.4	-11.6	31.8	34.6	33.7	0.1	1.8	-6.3	5.5
	簡易宿所	-1.1	10.4	-34.5	-13.7	-37.7	9.9	-20.3	1.2	-13.4	0.9	-3.6	-19.2	-12.4
	エリア合計	0.4	-8.9	-2.2	1.2	-17.1	-17.9	25.9	27.6	32.3	0.8	-0.2	-6.0	2.1
Bエリア	旅館	-31.5	-44.7	-24.4	-4.5	-26.7	-43.1	-10.9	24.4	45.9	2.2	-11.0	3.6	-8.4
	ホテル	-5.8	-14.1	6.9	-7.5	-20.3	-15.6	5.8	10.8	4.7	-8.9	-10.0	-10.9	-5.7
	簡易宿所	-36.1	-0.9	8.0	8.3	-30.7	-73.4	36.6	381.5	-25.9	62.6	-43.1	-48.8	0.9
	エリア合計	-10.4	-20.7	-2.5	-6.1	-22.8	-27.3	-0.2	20.2	12.7	-4.1	-11.1	-6.9	-6.4
Cエリア	旅館	-13.5	-28.4	-14.3	-7.1	-17.2	-19.1	2.8	33.1	-19.0	10.2	-19.8	28.2	-7.2
	簡易宿所	*	*	*	*	-84.2	-41.9	-11.7	-7.0	-2.0	-35.3	-31.0	22.4	-3.9
	キャンプ場	*	*	*	-55.1	6.4	-18.5	-30.6	-8.5	-10.0	25.3	-27.9	9.7	0.3
	エリア合計	6.7	-2.3	-3.2	5.3	-23.7	8.5	8.8	6.9	-17.5	-23.8	-28.4	20.2	-4.5
Dエリア	旅館	0.4	-62.6	58.8	-38.9	-18.5	-37.0	-9.1	-25.7	46.0	11.6	-28.0	-10.4	-16.2
	簡易宿所	-21.0	13.3	38.3	-4.3	0.4	-38.2	-18.7	1.0	164.4	9.9	-23.0	-16.7	2.2
	キャンプ場	*	*	-4.3	-21.3	15.6	-4.4	19.1	1.3	17.0	0.2	-40.8	*	11.8
	エリア合計	-3.6	-51.5	50.7	-30.3	-5.0	-26.4	6.2	-9.9	32.5	5.5	-29.3	-11.6	-5.2
Eエリア	旅館	-16.8	-9.2	23.3	6.8	3.7	1.1	10.5	-0.5	11.2	-11.0	-14.7	-19.5	-1.2
	簡易宿所	52.0	-38.8	-45.3	-31.6	-6.9	-31.1	-13.1	-16.5	41.5	1.5	-29.3	8.5	-4.3
	キャンプ場	*	*	*	-46.0	44.4	-3.8	-32.9	-8.8	71.0	*	*	*	5.5
	エリア合計	-14.2	-11.0	17.0	3.3	7.0	-1.6	0.2	-5.0	21.8	-9.0	-16.0	-16.6	-1.8
Fエリア	旅館	-61.5	-49.2	-22.2	-7.9	9.6	9.3	-53.4	1.1	34.9	8.3	1.6	29.9	-19.2
	簡易宿所	-67.1	-41.1	-41.5	-30.1	3.7	-23.8	-12.9	0.4	2.8	-59.4	-34.4	-55.0	-22.2
	キャンプ場	-17.6	14.9	43.5	-24.5	13.7	18.3	-10.2	-8.6	41.9	-20.4	-16.5	57.6	1.3
	エリア合計	-57.4	-44.0	-10.3	-12.3	11.1	9.1	-39.7	-4.0	36.5	-7.3	-4.3	28.3	-12.5
合計	旅館	-18.5	-27.9	-13.2	-10.4	-20.8	-29.9	0.6	11.1	33.8	2.1	-10.7	-4.9	-7.4
	ホテル	0.7	-7.7	5.7	4.2	-11.4	-12.3	27.0	30.3	28.4	-1.6	-0.4	-7.1	3.6
	簡易宿所	27.2	15.8	-15.0	1.3	-29.6	7.9	-1.5	4.3	-11.0	-19.1	-23.3	19.2	-6.8
	キャンプ場	-17.6	14.9	37.4	-26.4	13.9	1.9	7.4	-4.0	25.0	-0.3	-25.4	30.2	5.5
総合計	-5.0	-12.4	-1.4	-1.0	-16.2	-15.1	11.8	16.0	24.5	-2.5	-5.0	-5.2	-0.7	

本調査は今回が初年となり、増減率の比較対象となる前年分数値が無いことから、「延べ宿泊者数増減率」は、前年同月の延べ宿泊者数の記入が有る回答について集計し、月別の増減を推計しています。

近年の景気後退に加え、全国的に「新型インフルエンザ」の影響で外出や旅行が控えられたことから、年初から宿泊者数が対前年同月比で大きく落ち込むエリアが多くみられ、特に、5月、6月のハイシーズンに深刻な影響が現れました。

ただ、その後、「新型インフルエンザ」が鎮静化を見せたことなどから、全般的に、夏場以降は回復傾向を見せています。修学旅行については、春にキャンセルが相次いだものの、旅行先についての急な変更も難しいことから、学校によっては時期を遅らせての来訪があり、また、7月～8月には「2009 近畿まほろば総体」が奈良で開催されたこともあって、7月～9月には県北中部を中心に対前年同月比で回復傾向がみられます。

しかしながら、高原・山間地域を抱え、キャンプやハイキングなどのアウトドア活動を楽しむ旅行者の多い県南部においては、夏場の天候不順や土砂崩れによる道路の通行止めの影響を受け、低調な推移となるエリアがみられます。特に、バンガローやキャンプ場の多いFエリア(国道169号線沿線)では、天候次第で観光客が大きく異なるとみられ、対前年同月比増減が大きく変動しています。

4. 定員稼働率と客室稼働率

(1) 定員稼働率

月別定員稼働率

(単位:%)

エリア	種別	21年1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間稼働率
Aエリア	旅館	14.3	12.3	24.1	31.9	33.2	22.1	29.1	37.9	36.3	37.8	35.4	18.5	27.9
	ホテル	33.2	34.4	57.7	59.0	49.7	34.6	45.9	64.5	53.4	64.5	79.2	45.8	51.2
	簡易宿所	2.1	2.6	7.5	8.5	13.4	11.3	13.2	24.7	9.2	7.1	4.9	3.8	9.3
Bエリア	旅館	6.0	6.6	15.9	27.6	21.0	12.0	21.6	37.6	18.6	26.4	37.1	15.8	20.7
	ホテル	25.1	23.0	38.8	40.6	35.2	24.8	30.2	43.7	33.7	40.0	47.6	25.9	34.2
	簡易宿所	2.0	5.1	20.1	25.2	19.4	6.9	9.1	40.9	14.7	22.2	13.9	1.8	15.2
Cエリア	旅館	11.1	11.0	13.2	18.6	14.0	11.1	14.7	25.7	7.9	7.7	8.4	3.3	12.9
	簡易宿所	0.0	0.4	0.4	2.5	1.7	7.3	25.1	50.8	58.9	8.4	3.0	2.4	33.7
	キャンプ場	1.2	1.1	4.3	4.4	12.4	7.1	14.2	29.2	13.7	19.4	11.6	5.9	10.8
Dエリア	旅館	3.6	2.7	11.8	21.7	17.6	6.9	28.1	29.3	11.6	10.0	10.2	3.6	13.6
	簡易宿所	2.4	2.6	5.3	15.7	6.3	6.5	7.9	9.9	6.5	21.1	18.7	1.3	9.5
	キャンプ場	0.5	0.0	0.5	1.0	10.8	4.2	23.3	37.8	13.7	3.8	0.9	0.1	11.4
Eエリア	旅館	10.4	10.7	16.1	18.2	19.5	13.4	17.2	25.8	17.6	16.0	19.7	10.9	16.4
	簡易宿所	2.9	1.8	2.9	3.5	8.3	2.4	8.8	18.0	9.1	2.2	1.1	0.9	5.9
	キャンプ場	*	*	*	0.4	5.6	0.4	3.9	11.4	6.4	1.3	0.1	0.2	3.3
Fエリア	旅館	9.2	12.1	16.0	17.3	20.0	15.6	21.3	43.0	17.0	20.2	22.3	13.7	19.1
	簡易宿所	2.5	6.0	5.1	3.0	7.3	3.2	6.3	11.3	6.8	13.1	2.7	1.1	0.9
	キャンプ場	2.3	2.5	9.1	4.7	23.7	6.1	20.9	57.5	26.6	10.7	6.7	4.3	14.7

定員稼働率については、原則として延べ宿泊者数を、月末稼働宿泊定員数に月中日数を乗じた数値で除しています。また、月中の延べ総稼働定員数の記入が有る回答については、その数値で除しています

従業者数 10 人以上の宿泊施設を対象とした国土交通省観光庁の「宿泊旅行統計調査」によると、平成 21 年の全国の平均的な定員稼働率は、旅館で 31.1%、シティホテルで 55.5%となっています。

従業者数 10 人以上の規模の宿泊施設は、奈良県内では 70 施設ありますが、その半数は奈良市内に立地し、Aエリア内では約 6 割に上ります。規模が大きくなれば、広告宣伝を始めとした宿泊客誘致活動を行いやすく集客力が高まることから、Aエリアの定員稼働率は全国平均に近いものとなっています。

しかしながら、中小規模の宿泊施設の比率が高いその他のエリアでは全国平均を下回っており、観光協会や旅館組合等、また、行政との協働による地域全体での集客活動が求められています。そのため、奈良県中南部の有力な観光地を抱え、宿泊施設や観光施設が集積した地域では、創意工夫をこらした活動が行われ、観光雑誌の人気調査でも上位にランキングされるケースもみうけられます。

(2) 客室稼働率

月別客室稼働率

※客室稼働率については、回答のあった施設の単純平均数値です。

(単位:%)

エリア	種別	21年1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間稼働率
Aエリア	旅館	25.4	65.1	41.6	45.4	42.3	31.7	36.2	46.3	47.1	52.8	55.6	32.2	43.5
	ホテル	45.7	48.9	67.3	65.6	57.1	43.9	56.0	68.5	58.8	73.6	82.5	54.1	60.2
	簡易宿所	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
Bエリア	旅館	15.7	19.0	25.7	33.7	25.0	9.3	29.0	40.3	22.7	26.0	42.0	17.5	25.5
	ホテル	51.6	57.0	71.2	74.8	64.5	55.7	64.9	76.9	69.1	64.5	78.3	60.8	65.8
	簡易宿所	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
Cエリア	旅館/簡易宿所	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
Dエリア	旅館	10.5	6.8	13.3	16.8	39.8	13.0	44.6	48.8	38.8	29.8	39.0	15.5	26.4
Eエリア	旅館	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
Fエリア	旅館	13.8	16.3	27.3	25.6	30.7	29.0	30.5	46.4	27.0	35.3	39.4	18.1	28.3

客室稼働率については、調査票で月中の客室稼働率の記入が有る回答について、その数値を集計し単純平均を算出しています。また、客室稼働率は、主にホテルの営業効率性をみる指標として用いられることから、旅館や簡易宿所では算出していないケースも多く、回答サンプル数の無いエリア、ないしは極めて少ないエリアについては「*」として表示しています。

前述の国土交通省観光庁の「宿泊旅行統計調査」によると、平成 21 年の全国の平均的な客室稼働率は、旅館で 49.0%、リゾートホテルで 50.0%、ビジネスホテル 61.3%、シティホテル 66.2%などとなっています。

県内では、Aエリアで旅館、ホテルとも全国水準に近い客室稼働率となっており、Bエリアでは、ホテルが比較的良好な客室稼働率で推移しています。また、特に、春・秋のハイシーズンには高い客室稼働率がみられます。

なお、個別施設でみると、知名度が高く集客力に優れ、教育訓練と高いオペレーション力によりサービスも平準化されたホテルチェーン系の宿泊施設の稼働率の高さが注目され、宿泊施設間の格差が生じています。

一方、Dエリア、Fエリアなどの県中南部は、中小規模施設が多いことから、全国に比して低めの客室稼働率となっています。これらエリアでは、春・秋のハイシーズンもさることながら、山間地が多いことから、夏休みを中心とした夏場の稼働率の高さが注目されます。

5. 一人当たり平均宿泊数

1人当たり宿泊数(延べ宿泊者数/実宿泊者数)

(単位:泊)

エリア	種別	21年1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Aエリア	旅館	1.08	1.06	1.05	1.06	1.04	1.03	1.14	1.18	1.05	1.05	1.10	1.07
	ホテル	1.24	1.20	1.20	1.19	1.18	1.21	1.23	1.24	1.19	1.25	1.26	1.24
	簡易宿所	1.49	1.42	1.43	1.58	1.06	1.15	1.22	1.31	1.42	1.17	1.37	1.56
Bエリア	旅館	1.27	1.30	1.34	1.63	1.22	1.23	1.53	1.89	1.22	1.30	1.31	1.45
	ホテル	1.29	1.20	1.48	1.34	1.41	1.45	1.48	1.60	1.36	1.23	1.14	1.14
	簡易宿所	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
Cエリア	旅館	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	簡易宿所	1.58	3.05	2.01	1.43	1.08	1.07	1.37	2.13	2.47	1.16	1.43	1.62
	キャンプ場	1.01	1.23	1.10	1.05	1.12	1.09	1.21	1.07	1.11	1.00	1.00	1.00
Dエリア	旅館	1.10	1.04	1.05	1.15	1.15	1.33	1.06	1.31	1.02	1.06	1.10	1.03
	簡易宿所	1.08	1.00	1.01	1.03	1.03	1.12	1.01	1.00	1.03	1.00	1.00	1.00
	キャンプ場	*	*	1.07	1.05	1.05	1.00	1.02	1.04	1.03	1.03	1.07	*
Eエリア	旅館	1.12	1.11	1.11	1.12	1.10	1.09	1.11	1.10	1.08	1.07	1.07	1.10
	簡易宿所	1.00	1.00	1.01	1.15	1.10	1.12	1.03	1.04	1.07	1.00	1.00	1.00
	キャンプ場	*	*	*	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	*	*	*
Fエリア	旅館	1.50	1.57	1.36	1.27	1.34	1.31	1.36	1.28	1.36	1.24	1.11	1.05
	簡易宿所	1.46	1.48	1.07	1.01	1.00	1.00	1.00	1.03	1.04	1.08	1.27	1.49
	キャンプ場	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.11	1.12	1.11

一人当たり宿泊数は、延べ宿泊者数と実宿泊者数の双方の回答があった調査票を集計し、延べ宿泊者数を実宿泊者数で除し、1人の宿泊者が連泊した度合いをみています。

旅行者一人当たりの宿泊数は、ほとんどのエリアにおいて 1.00 をやや超えた水準であり、総じて一泊が中心となっています。

ただ、C、D、Fのエリアにおいて、旅館、簡易宿所の一人当たりの宿泊数が多くなっています。その要因として、一つには、これらの地域は山間部に位置し、土木・建設や林業事業等の従事者の連泊が多いことがあります。また、山や川の自然体験型の、比較的規模の大きな宿泊施設(国立曽爾青少年自然の家、みつえ青少年旅行村など)の立地が多く、青少年の教育目的の宿泊や、自然にゆったりと浸ることを目的とした宿泊が多いことも要因と言えます。

6. 修学旅行の状況

(1) 修学旅行宿泊者数

修学旅行者延べ宿泊者数推計

(単位:人)

エリア	種別	21年1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
Aエリア	旅館	1,678	1,661	1,774	9,202	18,462	10,517	7,448	6,892	24,741	28,168	9,615	7,365	127,525
	ホテル	116	145	711	1,992	4,816	1,376	826	1,050	4,368	4,960	2,351	1,885	24,595
	簡易宿所	0	0	0	20	445	0	72	60	370	1,630	497	265	3,359
Bエリア	旅館/ホテル	40	243	1,753	1,034	2,226	1,029	2,201	2,260	2,238	4,815	4,301	2,501	24,641
	簡易宿所	0	0	0	0	170	0	82	132	0	57	0	0	441
Dエリア	旅館	0	16	1,254	1,013	1,535	300	4,827	4,532	940	1,444	593	358	16,813
合計	旅館	1,718	1,920	4,128	11,249	21,485	11,807	14,476	13,478	27,227	32,926	13,797	9,654	163,865
	ホテル	116	145	1,364	1,992	5,554	1,415	826	1,256	5,060	6,462	3,063	2,456	29,708
	簡易宿所	0	0	0	20	615	0	154	192	370	1,687	497	265	3,800
総合計		1,834	2,066	5,492	13,261	27,654	13,222	15,456	14,926	32,657	41,075	17,357	12,374	197,373

修学旅行者は、県により主要修学旅行者宿泊先として把握している31の宿泊施設について、修学旅行者数の回答のあった施設の月中延べ定員数に対する修学旅行宿泊者数の比率を基に、今回回答の無かった施設についても推計しています。

また、エリア別では、Aエリア、Bエリアに集中し、Dエリアで散見されていますが、その他のエリアでは回答中に数値の記入が無かったことから、修学旅行者は「無し」と推定しています。

平成21年中の修学旅行宿泊者数は、県内で197千人と推定され、その内、約8割は、国内で代表的な修学旅行地である奈良市を中心としたAエリアに集中しています。

その他では、明日香、橿原を中心としたBエリアや、吉野山、洞川を中心としたDエリアといった、全国的にも知名度の高い地域に一定程度の修学旅行者が見られます。

中でも注目されるのは、明日香村における民宿の修学旅行誘致で、村の外郭団体の傘下に村内の民宿8施設が集まり修学旅行を誘致し、各民宿に分宿させています。都市部の児童・生徒にとっては興味深い新鮮な体験ができ、また、周りには繁華街等が無く、引率者も安心なことから好評を得ており、全国的に知名度の高いこれらのエリアのポテンシャルがうかがえるものとなっています。

(2) 修学旅行一人当たり平均宿泊数

修学旅行1人当たり宿泊数(延べ宿泊者数/実宿泊者数)

エリア	種別	21年1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Aエリア	旅館	1.00	1.00	1.08	1.02	1.02	1.00	1.01	1.01	1.00	1.01	1.09	1.02
	ホテル	1.00	2.00	1.19	1.00	1.12	1.33	1.03	1.06	1.02	1.48	1.15	1.77
	簡易宿所	*	*	*	1.00	1.00	*	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
Bエリア	旅館	2.00	1.00	1.32	1.06	1.99	1.17	2.34	1.83	1.00	1.00	1.00	1.00
	ホテル	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	簡易宿所	*	*	*	*	2.00	*	1.00	1.00	*	1.00	*	*
Dエリア	旅館	*	1.00	1.05	1.00	1.00	*	1.32	1.83	1.00	1.00	1.00	1.00
合計	旅館	1.02	1.00	1.14	1.02	1.09	1.03	1.23	1.14	1.00	1.01	1.04	1.01
	ホテル	1.00	2.00	1.19	1.00	1.12	1.33	1.03	1.06	1.02	1.48	1.15	1.77
	簡易宿所	*	*	*	1.00	1.16	*	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
総合計		1.02	1.03	1.15	1.02	1.09	1.05	1.21	1.13	1.00	1.04	1.04	1.02

修学旅行一人当たり平均宿泊数については、1.00台半ばから2.00を超えるケースもみられ、Aエリアでは、特に、オフシーズンの冬場の落ち着いた時期に連泊が多く、一方、県中南部の山間エリアでは、夏場の連泊が多くなっています。

7. 主要観光地別延べ宿泊者数

主要観光地別延べ宿泊者数

(単位:人)

観光地名	種別	21年1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
奈良市内	旅館	20,557	15,293	35,709	46,543	50,327	32,682	43,720	56,642	54,240	65,704	59,065	32,033	512,515
	ホテル	43,687	42,000	79,102	80,293	69,475	47,133	64,626	89,560	72,152	79,340	94,653	56,465	818,487
	簡易宿所	1,089	1,227	3,919	4,709	7,563	6,099	6,671	12,470	4,047	3,713	2,320	1,584	55,411
	小計	65,333	58,520	118,730	131,545	127,365	85,915	115,017	158,673	130,439	148,757	156,037	90,082	1,386,413
信貴山	旅館／簡易宿所	3,202	2,251	4,987	6,867	6,998	4,100	5,866	7,783	6,778	7,450	7,344	4,030	67,655
明日香・橿原	全施設	7,842	6,805	13,949	14,990	12,652	8,019	10,744	17,888	11,445	14,801	17,263	8,321	144,719
初瀬・多武峰	旅館	713	764	2,685	4,848	4,186	2,140	3,871	6,777	3,520	6,096	8,347	3,628	47,574
吉野山	旅館／簡易宿所	2,665	1,748	7,756	15,883	12,838	4,935	22,741	22,994	8,286	5,357	5,170	1,876	112,248
天川・洞川温泉	旅館／簡易宿所	3,144	2,540	6,932	14,806	14,972	8,625	25,190	25,143	10,062	8,662	8,016	1,596	129,686
	キャンプ場	115	0	190	600	6,256	2,484	16,210	22,963	7,805	1,952	287	34	58,895
	小計	3,258	2,540	7,121	15,406	21,227	11,109	41,400	48,106	17,867	10,614	8,303	1,629	188,582
十津川温泉	旅館／簡易宿所	1,600	1,125	2,500	2,619	3,644	1,980	3,351	5,448	3,469	3,388	4,308	2,254	35,686
合計		84,612	73,754	157,729	192,159	188,911	118,197	202,989	267,669	181,804	196,463	206,771	111,820	1,982,876

主要観光地別については、県内の代表的観光地で宿泊施設が多く集積する地域を選び、宿泊施設の所在地別に推計分（非回収分）を合算して集計しています。

県内延べ宿泊者数の約8割が上記表の7地域に集中しており、また、その内の約7割が奈良市内に集中しています。

この状況は、そのエリアの宿泊施設の施設数や収容人員数とおおむね正の相関関係にあります。先にみたように、奈良市内などの一部を除いては、全国平均に比して定員稼働率は低い状況にあり、宿泊者収容能力の余力は数量的にみれば高いとも言えます。